

2013年頃にサイトで公開していたメモです。 :-)

右往左往,時に脱線しながらも、各要素は中央の1点に向かっていく・・・。
そんな物語を書きたい

2013/08/28

最初のカードバトルは
何処かいったらしい

▶補足説明

哲学軸ファンタジー？

↑造語です。「哲学」とありますが、ソクラテスが...カントが...という内容ではないです。

現状を改善するために「何をしたらいいか?」「何を、どう、考えたらいいか?」という内容に近いです。

--

▶内容紹介の下書き、再up

50超のキャラクター1人1人が自己改善に必要な能力のどれか1つを強く持っていて。

例：時間活用、継続力、意思力、探求力、記憶、など。

見てくれる人は、自分に足りないもの、必要な要素を持つキャラクターを選ぶことにより、そのテーマについて [自分自身で考える] ためのヒントを得る事が出来る。

Web技術の条件分岐を使えば、チャート式で、タイプ別に最適な「問い」が作れるんじゃないかなあ、と。模索しています。

「解法」として、中学卒業までの数学を分類して、割り当てたい。

大きな大きな円があって、等間隔に物語の起点があったとして。

右往左往,時に脱線しながらも、各要素は中央の1点に向かっていく・・・。そんな物語を書きたいのです。

聖書を買った動機

元々、夢を叶える系のビジネス書が好きで、色々持っていたのですが、ある日、哲学ファンタジーの参考用に、何か本を買おうと本屋さんに行った時に、

本屋

2013/07/21

物語を書くための有益な資料を求め、自分の行動範囲内で最も大きな書店に行った時。

呆然とした。店内の広さと、そびえ立つ本棚。考えてみれば当たり前のことなのだが、

「一生かけても全部読めないな」そう思った。(以下省略)

世界のベストセラー本なる、聖書1冊買った方が良いのでは?と思ったわけですが、でも絵の技術書の積読もあったし、確か買って数年間、読まずに置いてありました。^^;